

問 市防災課防災係  
(☎22-2111 内線3241)

# 命を守る話 No.11

市地域防災官  
深江 政友



## 災害対策基本法「住民の責務」

今月は、災害対策基本法についてお話しします。日本の防災・危機管理の中で、国や都道府県、市町村といった行政は一定の役割を果たしています。第二次世界大戦後しばらくは、国は疲弊し国力が乏しかったこともあり、堤防や水門の整備が間に合わず、枕崎台風（昭和20年）では死者・行方不明者数が3,756人、カスリーン台風（昭和22年）では1,529人、伊勢湾台風（昭和34年）では5,000人以上と多くの犠牲者を出しました。当時、日本では、防災・危機管理の根幹となる基本事項を定めた法律がなかったため、災害発生時の責任の所在が不明確で、防災行政もうまく機能していませんでした。こうした反省と伊勢湾台風をきっかけに、昭和36年に「災害対策基本法」を制定。国や地方公共団体などの責務や組織、防災計画の作成の義務、財政金融措置などが定めら

れました。市町村長が発令する高齢者等避難や避難指示も、この法律に基づくものです。災害対策基本法は、日本の総合防災対策の基本であるため、その根幹は変わりませんが、阪神・淡路大震災や東日本大震災などの大災害の教訓を踏まえ、これまで数回改正されています。この法律の基本理念には、国や地方公共団体の責務だけでなく、地域住民に対しても「食品、飲料水など生活必需物資の備蓄」や「防災訓練など防災活動への参加」などの責務が定められています。防災対応は、時間の経過とともに災害予防、災害応急対策、災害復旧・復興の3段階があり、各段階で国、地方公共団体、公共機関、事業所、住民などが一体となり最善の対策をとることが被害の軽減につながるといわれています。これらを理解いただき、皆さんも「住民の責務」として行動を起こし、災害時の被害軽減と一緒に取り組んでいきましょう。



# ひとよしのお仕事



人吉市にはたくさんの事業所があり、生き生きと働く人たちが町を活気づけています。このコーナーでは、市内で働く若者を紹介します。掲載希望事業所を募集しています。ぜひお問い合わせください。

主に、チェーンソーなどの農林業機械の販売・修理、空中に張り渡したワイヤーロープにつるした搬器に土木資材などを載せて運搬する索道の設計・設置を行っている会社です。私は九州各地の山林などの傾斜地で、索道やモノレールを設置する仕事をしています。運搬時の安全に関わる仕事なので、分からないことはすぐに先輩に尋ね丁寧に作業するように心掛けていて、分かることが増えていくことにやりがいを感じています。今後はさらに経験を積んで技術を磨き、索道の設計にも挑戦したいです。先輩たちはとても優しく明るい職場です。皆さんも一緒に働きませんか？

## 第一索道商事株式会社



所在地：東間下町 3316 番地 1  
創業：昭和 28 年 8 月  
代表者：平野 隆三  
従業員数：36 人  
事業内容：農林業用機械の販売・修理、索道の設計・設置  
☎22-4121



なかまたける  
中間 岳さん (28) 鹿児島県薩摩郡さつま町

# ふるひと どぎゃんね



## ふるさと人吉応援メッセージ

- 人吉は新婚旅行で行った思い出の場所です。もっと皆さんに行って知ってもらいたい良いまちです。(北海道)
- 亡夫がこよなく愛した人吉の復興をお祈りしています。(合志市)
- 水害からの復興を応援しています。コロナが収束したら、また人吉温泉に行きたいです。(宮崎県)
- コロナで帰れていませんが、人吉が元気になりますように。皆さん頑張ってください。(千葉県)
- 私の伯母が、豪雨災害の復興支援で人吉市に伺ったことがあり、すてきなまちだから応援したいと言っていたのを思い出して選びました。(東京都)
- SL人吉に乗ってまた人吉に行きたいです。(大阪府)

「ふるさと納税」制度は、市の貴重な財源であり、市の特産品を全国へ PR できるため地域の活性化につながっています。

このコーナーでは、本市へ寄付いただいたふるさと納税寄付額と件数、寄付と共に寄せられたメッセージを抜粋して紹介します。

◎ 6月に寄せられた寄付  
922件 1,893万円

問合せ 市商工観光課商工係  
(☎22-2111 内線2133)

# Let's フレイル予防

問 市高齢者支援課元気・長生き係 (☎22-2111 内線1213)

フレイルとは、加齢に伴って心身の活力が低下した状態のこと。健康な体を維持するためにフレイル予防を始めてみませんか。

No.15 今月のテーマ 「し・に・あ」の"あ"

あ つーい夏を乗り切りましょう

## 夏の過ごし方に気を付けよう

夏は自宅で過ごす日々が続く機会が減っていることや、暑さに対する準備ができていないことから、この時期は体力が低下しフレイルが進行しやすい状況に！ また、フレイルになると筋肉量が減るため、脱水になりやすく熱中症の危険が高まります。まだまだ暑さが続く中、フレイル・熱中症になりにくい体づくりと体調管理を行いましょう！

## フレイル予防、熱中症予防のための夏の過ごし方

- ①喉が渇かなくても時間を決めて水分補給  
 1日当たり1.2L (コップ約6杯)を目安に
- ②我慢せずにエアコンや扇風機などを使う  
 直接風が体に当たらないように注意
- ③涼しい服装で過ごし、外出のときにはこまめに休憩をとる  
 無理のない範囲で適度に運動を！
- ④暑さに備えた体づくりと日頃からの体調管理  
 無理のない範囲で適度に運動を！
- ⑤具合が悪くないか、暑い環境に居ないか、友人や近所の人と声を掛け合う